

冬休み中に外国に長期在住の卒業生が 遺愛を訪問

冬休み中に懐かしい卒業生がお二人、遺愛を訪ねて下さいました。

お一人は1987年に遺愛を卒業しイギリスのロンドンで活躍しているK39回藤原百合恵さん。もうお一人はカナダに50年以上在住のK5回小崎京子さんです。

藤原百合恵さんは、遺愛英語科に在学中にオーストラリアの高校に留学し卒業、さらに遺愛を1987年に卒業後は、イギリスのロンドン大学に留学・卒業し、そのあとはずっとロンドンに在住してビジネスに関わっています。遺愛の後輩の皆さんにメッセージを送って下さったので掲載します。

「卒業してもうすぐ36年になりますが、遺愛での時間は今も鮮明に思い返されます。福島校長先生は1年時の担任でしたが、破天荒な生徒が入学してきて驚かれたでしょうね。卒業までの4年間、たくさんの先生に迷惑をかけまくり楽しい生活を送っていた自覚はあります（笑）。

在学中様々な経験をさせていただきました。部活動、英語弁論大会、ボランティア活動とその活動を広めるために出場した青年の主張など、本当に充実した高校生活を送りました。学業以外を精一杯頑張った問題児でしたが、オーストラリア留学時には遺愛の英語教育の凄さを実感しました。試験英語だけではなく実用英語を教わっていたため、英語を使う度胸があったのでしょうか。初めから恐れることなく会話に参加して、無事にブリスベンの高校を卒業できました。ホストファミリーとは今でも家族付き合いをしています。私のランドマーク誕生日パーティーにはMumと妹がロンドンまで来てくれました。

卒業後英国に渡り、英国で過ごす時間は日本の2倍の長さになりました。独立してフリーランスのビジネスコンサルタントに転向してもう20年、幸い周りの人に支えてもらいなんとか生活しています。在校生の皆さんにはいろいろなことにチャレンジしてとにかく学生生活を楽しんでほしいです。10代という大切な時期を過ごした学校での経験は、後々必ず皆さんの支えになってくれますよ。」



カミラ国王妃

イギリス王室主催のガーデンパーティー

「毎年恒例のイギリス王室主催のガーデンパーティーには、通常政府や団体、王室事務所などから推薦された人が招待されます。各国大使館にも招待枠があ

り、持ち回りで出席しているそうです（日本大使館談） 私は、バッキンガム公式商品の缶を長年調達してきたことと、公式商品を日本へ輸出販売した功績で招待されました。ロイヤルコレクション財団から“エリザベス女王陛下は民族衣装が好きだから是非着物で”と言われまして、日本で新調してパーティーに臨みました。**カミラ国王妃に“素敵なお着物ね Nice Outfit”とお声をかけてもらいました。**とても優しい雰囲気の方でした。」…藤原さんのイギリスでの交友関係はとても広く、コネが多方面にあることで、在英日本大使館の人たちからは“Fixer“と呼ばれているそうです。



小崎京子さんは3年半ぶりの遺愛です。2019年の遺愛創基145周年記念式典の時にいらして、後輩の皆さんに講演して下さり大好評でした。今回はトルコにあるカナダ大使館に外交官としてお勤めの娘さんの美香さんとそのご主人（カナダ人）、お孫さんのEvaさんと4人で来校して下さいました。美香さんのご主人は学校の先生でしたが、美香さんの外交官としてのキャリアを優先して、学校をやめ、今は主夫として娘さんのEvaさんの面倒をみているそうです。

お母さんの京子さんが、昔から母校・遺愛のことを自慢していたので、美香さんは一度、遺愛を見てみたかったそうです。それで今回は、それぞれカナダ、トルコから飛行機で来て、東京で待ち合わせをして、函館の遺愛に来ました。

本館は工事中で見えることはできませんでしたが、講堂、遺愛アリーナ、東館（中学棟）を見学していききました。途中、何人かの在校生ともお話ができました。Evaさんは「もし日本に住んでいたら、私もおばあちゃんの学校に行きたい」と嬉しいことを言ってくれたそうです。来年の創基150周年記念式典（2024年9月末に予定）にも来て下さればと願っています。

遺愛の同窓会支部にはハワイ支部があって、K15回田口弘枝さんが支部長を務めています。昨年9月に久しぶりに母校に来て下さり、楽しいひとときを過ごしました。

ハワイは遺愛初代教頭の宇野兼三（かねみつ）先生が1911年に遺愛を退職された後、ハワイに移住しマノワ日本人学校の校長を勤めていた所でもあります。



ハワイ支部長田口さん

2023年1月12日